

第2回幹事会【議事録】

○日 時：平成29年7月24日（月）19：00～21：30

○場 所：江東区役所防災センター 3階会議室

○出席者数：18名

議 事

1.

発言者	要旨
①	<p>皆さまお忙しい中、お暑い中、お集まりいただきまして、ありがとうございます。これより第2回意見交換会・幹事会をはじめます。前回に引き続き、司会を務めさせていただきます、河川公園課①と申します。よろしく申し上げます。</p> <p>前回、議事録を一度お送りさせていただきました。少し修正点がございました。皆様からご指摘いただいたことを修正しております。それから、ホームページの公開と発言者の表記ですが、資料④をご覧ください。資料④は前回の幹事会の議事録となっております。できる限り皆様からも情報公開をしてほしいとのことで、私たちの方でも考えましてこのような形にさせていただきました。発言者の番号は、発言の順番にふってあります。個人名は直接出さないので、内容を見ていただければ、だいたいの方がわかるかもしれません。これをこのような形でホームページに公開しようと思っております。そうすることによって意見の透明性を高めていきたいと思っております。次回以降も、この発言者の番号がそのまま同じ番号で、例えば私は司会をやっておりますので①番ですが、その後も前回の発言の番号がそのまま、今日の発言の番号になるというように考えていただければよろしいと思います。</p> <p>私の方からは以上です。</p>
⑥	<p>前回お配りしたのですが、資料上から3つめの「規約」について、一部修正がありましたので、報告いたします。規約につきましては、名簿のところ、⑩様と⑧様のところで、NPOとあったところを、とらせていただきました。さらに「規約(案)」の(案)をとらせていただきました。修正したところは、そこだけでございます。</p>
④	<p>それでは、また進行を務めさせていただきます。</p> <p>前回の議事録の確認、正直どうなるかと思っておりましたが、皆さんにはまだこういう発言者が番号になる前のものが出回っておりましたか？</p> <p>ご意見はこれで集まったものですね？ご協力ありがとうございました。</p> <p>議事録の共有は行政の方でも、これまでの前例からすると違う判断に踏み込んでくださったと理解しております。いろいろな自治体の中で、いろいろな取組をされていますが、こういうベースで議論できるということは、これからの新しい状況を江東区で作っていくという可能性を感じた次第です。ご協力ありがとうございました。</p> <p>規約の修正について確認したことに続いて、意見交換会が私たちの目標としているところですが、それに関わる現段階での情報を改めて確認いただけますか？どういう会場を借りているとか。</p>
⑥	<p>前回の第1回の幹事会の時にお話させていただきましたとおり、意見交換会の第1回目</p>

	を 8 月 26 日に開催します。
⑦	その前に事前にお送りいただいた資料と今の机の上にある資料の関係がわからないのですが。
④	それでは、資料の話をお願いします。
⑤	配布資料ですが、本日 9 種類お配りしております。資料の番号がないものが上から次第、タイムテーブルがございます。それから幹事会の規約の「案」が外れたものがありまして、資料①が前回の意見交換会の構想という、皆さんからワークをしてもらったものを整理したものになっています。先週の金曜日に皆さんに発送、郵送をしております、今日までにはお手元に届いているかと思えます。次に A3 の資料②-1 というものがあります。それから資料②-2 という A4 の資料があります。それから資料③という A4 の資料ですが、こちらが資料①と一緒に先週の金曜日にお送りしているものです。これは前回のアンケートを整理したものになります。資料④というのが前回の議事録の名前を記号に振り替えたものになっております。それから資料⑤というのが、本日のアンケート、これは本日終わってから書いていただくものになります。以上の 9 種類をお渡ししています。事前にお送りしたものが資料①と③ということになります。よろしいでしょうか。
④	赤い星印は郵送したものですね？
①	郵送したのが、先週の金曜日だったので、きょうの午前中あたりにご自宅に届いたかもしれません。大変申し訳ございませんでした。次回からは気を付けてまいります。
⑦	それと、13日ごろに分厚い議事録をお送りいただいたのですね？ 前の資料の順序と同じ順番ですか？
④	そのあたりを確認しながら進めます。資料はなるべく少ない方がいいとは思いますが、なるべく多くの人の意見を共有していきたいとも思います。この 2 つをどう折り合いをつけるか悩めるところでございます。 今、ご質問いただいたことも含めて、資料を使った振り返りをしていきます。 では、郵便で送りました資料①、資料③、それから資料②-2 の 3 つをご覧ください。 資料③から説明させていただきます。これは前回の最後にお書きいただいたアンケートを整理したものです。これには一人一人の方の感想がほぼ網羅されております。整理と確認に時間を要しました。また、整理したものを提出すると、組織の中での確認ということもあって、行政の方々にも見ていただく等々がございました。 今後、もっと早く仕事をする、もっと早く整理をするということに努めて参ります。 ここでは代表的な意見を 1 つお伝えします。1-3 をご覧ください。さて、記述の後ろの番号の説明をいたします。これは、第 1 回にお配りしております名簿の番号を文言の後ろにつけてあります。私たちの立ち位置について、それから役割についてという記述がありまして、その中の役割についてというところで、大変ありがたいなと思った発言がありました。ここで読ませていただきます。『公園に対して想いや意見をお持ちの方が多いいのは仕方ないと思いますが、幹事メンバーの役割は自分たちの意見を発することではなく、あくまで意見交換会を成功させることであることをメンバーがしっかり自覚することが大切だと思います。』こういう記述をいただいて、あ、よかった、ちゃんと伝わっているんだな、私たちの立ち位置の確認を改めてしていただいたと思います。参考まで

にこれを見ると、6の人の発言、このように見ていただけたらと思います。ちなみに6は⑬さんでした。これは私たちの中では時間がある限り議論はの中でやれば方がいいと思っておりまして、誰が発言したかというのは、この記述で残しておきたいという考えでおります。他のところも同じように記載してありますので、大変申し訳ございませんが、お手元でご覧になっておいてください。

2番目の振り返りをいたします。これは、宿題としてお寄せいただいたものです。資料①をご覧ください。郵送したものでございます。事前にエクセルの表で添付してお送りしたものを整理したもので、意見交換会でどういうことを大切にしていきたいかということを中心に軸でまとめました。この大きな軸のところだけを説明します。『共有に努めること』として、「一緒に取り組む姿勢の共有」、「取り組む目的と全体像の共有」、「事業意義や認識の共有」、「情報や見解の共有」、1-2をご覧ください。「幅広い立場の多様な発言の共有」、「疑問解決と重要話題の共有」、「意見交換成果の共有」、こういった、共有に努めることが大切だということ。1-2の下の部分を説明します。2つめの軸として『進行で工夫すること』として「幹事会としての運営の工夫」、1-3に移りまして、「将来の価値を問う工夫」、「建設的な議論の工夫」、「進行方法の工夫」、とあります。次のページ、2-1をご覧ください。ここでは、様々なご指摘をいただいたわけですが、具体的にはどうしましょうということ。「広報での工夫」、「企画での工夫」。2-2をご覧ください。「情報共有での工夫」。最後のページ2-3です。「進行での工夫」、「話題設定の工夫」。こういう内容をいただきました。さて、これらを整理したものが資料②-2です。みなさんから意見交換会で何を大切にしたいかということ資料①で6ページ分に整理しました。みなさんの足跡が番号として残っていますから、ご自身の発言が入っている、入っていないというあたりは、あとで確認していただけます。この資料①を話題ごとにもっと掘り込んでいったものが、資料②-2になります。意見交換会を考える——幹事会①のアンケートの要約として——というタイトルのものです。要約の軸を3つ立てました。その1つが「A 全体像を構想する」という軸です。会の趣旨を整理し広報するというものです。次に「B 事前に伝え共有する」何を共有対象とするの？ということとどうやって共有するの？という話です。「C 組み立てと進行を工夫する」とは、構成と進行を決めていきましょう、という話です。以上の3つの要約軸を立てて、それぞれどういう意見があったのか。ここに出ている意見は基本的には皆さんの発言がベースです。編集しているという点では、私たちが編集はしているのですが、元となる情報は皆さんの発言がベースです。

まず、A、B、Cを1ページずつ整理しています。1ページ目、Aの話をして。全体像を構想する・・・意見交換会の趣旨を整理し広報する、というところから。

途中、確認してなかったのですが、ここまでの話でよろしいでしょうか？

この上にいただいた声を3つの軸で整理しました、という話をしています。

Aの説明をします。

まず、生の声として、四角く「声」と囲ってあるところが生の声です。ここでは5つ紹介しております。4番の方が、「区民の大半は、仙台堀川の公園が区民にとってより魅力を増し、公園周縁道路利用者の利便が今よりも向上し、地域防災能力も向上するものであれば、かかる整備に貴重な税金を投入することに反対しているわけではないと考える」

というご意見、等々が書かれています。考える観点として、下に「考」と四角く囲いました。

○現在の状況に問題がある

- ・未だに今回の事業の全貌が理解できない
- ・整備が、公園や地域の課題を改善するものであるのか分からない
- ・50億円を投じる意義があるのか理解できない

ということです。これは私たちが分からないということは、地域の人たちも分からないという人たちがたくさんいるだろうということが推察されます。

2 つめです。

○意見交換会の開催に寄せる願い

- ・仙台堀川公園が区民共有の財産であるという認識を深め公園の魅力を高め活用していきたい
- ・意見交換の成果（議論の内容や反省点なども）を地域で共有し事業に反映させたい
- ・皆が整備してよかったと思える事業に計画にしたい

○開催にあたり大切にしたい姿勢

- ・門戸を開き子どもや他者の意見も受けとめ丁寧に議論する姿勢
- ・区民の疑問に応じみんなで努力する姿勢
- ・意見のやり取りをして区民も行政もともに考えていく姿勢

○前提とする事柄への理解

- ・複数の見解も最終的には取捨選択を迫られる
- ・検討ではいずれは優先順位をつけていかなければならない
- ・行政は事業を行い管理者になる、という社会的な理解

こういった話が寄せられました。次に全体像を構想するという話の中で、きょう議論を詰めてもらうべきものがあると考えました。それが「題」というところです。

この「全体像を構想する」という中で、2つの話題として方向を出していただく議論してもらいます。（消さなくていいと思います）

まず「会の位置づけと目標設定をする」、これは意見交換会の位置づけ、幹事会の位置づけもちょっと入るかもしれません。何のための意見交換会なのか意義と目的を明確に示すこと、意見交換会の運営目標とゴールを設定すること、意見交換会の成果は仙台堀川公園整備計画にどのように反映されるのかを簡潔に明示すること、

これがないと、呼びかける側として、区民の人たちに説明がつかないと思いますので、ここを明確にするということです。

次に「開催を周知する」、幹事会で整理出来次第、速やかに住民に周知したいこと、意見交換会に臨む「心構え」をしっかりと伝えること、「これは説明会とは違うんですよ、今回新しく意見交換会というステージで臨むんですよ」、という心構えを伝えるということ。区報、区のHP以外にも意見交換会の周知の方法を工夫すること、この、会の位置づけと目標設定をすることについては、今日できるなら、どんどん決めていただきたいと思う話題です。

ここまでが「A 要約軸の全体像を構想する」の説明です。

次のところも、「B」も説明していきますがその前に、今、前の黒板にその要約軸3つを

書いています。敬称略で書かせてもらいましたが、前回配布しました名簿順で名前が表記されています。この意味は、これらの話題を名前の書かれた方で議論していただきたいという希望です。

そこで、この話題なら、他の話題に移りたい、という希望がありましたら、この後、申し出ていただきたいと思います。

では、簡単に「B」「C」の説明をして、作業に入りたいと思います。

「B 事前に伝え共有する」という話題です。

「考」としては、

○資料を踏まえて交換する

○共有しやすく提示する

○見解の違いも共有する

この「B」において議論していただきたいことは、「共有対象と方法を定める」ということです。なるべくすべてを分かりやすく提示する、きっちり情報、見解、考え方、選択肢を共有する、具体的対象と示し方を決めることに関してです。実は皆さんから寄せられた「あった方がいいんじゃないか資料」というのが相当な数寄せられました。それらは、エクセルでただ寄せられたものを入力したのをお送りしていますから、ざっと見れば共有いただけたと思います。A3 横の資料②-1 をご覧いただけますか？これは、私たちの作業のバージョン 3 くらいの整理作業の状態です。皆さんからいただいたものをダラーっと入力する作業がバージョン 1、それをそのまま文章を変えずにエクセルの表にしたのがバージョン 2、その状態だと、皆さんに配ってもわかりにくいかと思われたので、バージョン 3 として意見で同じようなものをまとめました。この表の説明を少しさせてください。バージョン 3 の成果、質問のときに使った言葉そのものではありませんが、どんな資料があったらいいでしょうか？と質問をしたときに、想定したのは、「この資料」「あの資料」といったものでして、それが整理できたらこの表が作れるかと思っておりましたが、いただいた返信の中には、思いの丈を述べられている文章もありました。これは大変重要だと思ってこの表の右側に「見解表明」という欄を付けて、残してあります。左側が主題の話です。

そこで、左側の構造がどうなっているかということですが、先ほど⑦さんが質問してくださいましたが、前回、縦軸で並んでいた中にほぼその中に入れてあります。あの時の大項目の 7 項目の区別がなされています。ただ、下になればなるほど、入り混じっているな、というのはありましたので、改めて枠の中で整理しました。

これの左側だけをよせて、バージョン 4 として「B」の作業の方にはお配りできるように準備しました。今⑤さんが持っているものです。あれが、私たちが説明した、左側の列を縦に並べたうえで、右側にどこから収集したらいいのかな？という箱を 4 つつくりました。行政からもらうと合理的だろうという箱、市民に聞いた方がより良いものが出てくるだろうという箱、設計・コンサルに聞いた方がいいんじゃないかという箱、その他の箱というように作ってあります。この作業は「B」の方をお願いしたいと思います。これで「B」の説明は終わったことにして、「C」の説明をいたします。

次に「C」です。8月26日土曜日、午前中9～12時で、砂町文化センター3階の第一研修室という200名入ります部屋を借りています。もう1つ下の第二研修室45名入るとこ

	<p>ろも借りてあります。これの活用の仕方を考えてもらうのが「C」です。合理的な組立と進行の仕方をどうするのかを考えていただきます。皆さんから寄せられた意見は、「考」のところにあげました。</p> <p>○機会設定をどうするか</p> <p>○趣旨をふまえた構成にする</p> <p>○幹事会としての運営を工夫する</p> <p>この幹事会が大変ユニークでして、区民と行政とコンサルが協働で構成しているわけですが、その魅力を発揮した運営を工夫することです。</p> <p>「C」の方々には、建設的な議論はどういうような組立でいったらいいのか、進行の工夫としては、いったい誰がどのように担っていけばいいのか、という議論をお願いいたします。</p> <p>皆さんからいただいた意見にもいろいろありまして、複数の重要な話題があるのだから、複数の分科会をやったらどうかという意見もありました。また、この時間の前後で現場を歩く会をやった方がいいのではないかという意見も 2 名の方からいただきました。情報は、どのようにかして掲示化して事前に周知した方がいいんじゃないか、「みどり館」という部屋は使えないのか？という意見もありました。いろいろなアイデアをいただきました。進行の工夫を立体的にいろいろなやり方を入れ込んでご検討いただきたい、というのが「C」でございます。</p> <p>きょうのタイムテーブルをご覧ください。今、5分遅れで1つの話題が終わりました。グループワークの話に入りたいと思います。このような運びでよいのかということと、このグループの所属がこれでいいのかということを少し議論して、きょうは考えていきたいなければならないことがたくさんありますので、これらの 3 つの議題を全部できるわけではございませんので、グループを 3 つに分けさせていただき、先ほどの内容を議論していただきたいと思います。ここまでで意見はございませんか？</p>
--	--

2. 意見交換

発言者	要旨
⑧	<p>「A 全体像を構想する」ということが、同時進行でなされると、「B」と「C」というのは組み立てられるものなのではないでしょうか？</p> <p>もう 1 つは、少し悶々としているものがあって、仙台堀川公園整備計画の計画案が既に出てきている、この状況は、どう解釈すればいいのか？ということです。ここでそれに対する説明がない。僕らは新しい幹事会の中でこうやって提案しますよ、ということが、意見交換会の中でできるのであれば、そうしたいとは思っていますが、あの計画が引っかかっています。④さんも全くしゃべっていないので、このままいくと、あれは消えていくのか。これまでのたくさんの資料を見てくると、反対意見はたくさんあるし、いろいろな意見も出てきている。そこら辺をはっきりしないと、意見交換会に向かっていけない気がします。</p> <p>この 2 つが、ちょっと私の中で疑問が残ります。</p>
④	<p>それでは、1 つずついきます。</p> <p>まず、「A」「B」「C」は並立で同時進行して大丈夫かという話ですね？</p>

⑧	そうです。目的がはっきりしなければ、「B」「C」ができるのか、という疑問です。
④	その話についての明確な答になるかどうかはわかりませんが、とにかく同時進行でもやってみなければならぬ話題であるということです。 また、皆さんがどこかに入っていただくことでありますが、「A」「B」「C」全部が皆さんの関心事なんですよ。従いまして、一応ご担当いただいて話題の整理をしていただく時間と思って頂ければと考えました。 タイムテーブルのところの20:30からワーク共有ということで、それぞれ担当して検討してもらったものを聞いたうえで、決定できることは決定していきましょうという時間をきょうは持っていこうと考えています。ですから、話を前に進めるために、ちょっと先行して考えておいてくれないかな？という取組だと受け止めていただけるといいかと思っ提案しました。また別のいいやり方があればご提案いただきたいのですが。
⑧	「ちょっとやってみましょう」というレベルの意見の整理みたいなのところもあるし、こっちに向かっていけばいいかというような意見がたくさん出ればいいかと思います。
④	基本的にみんなの意見を束ねていく、という姿勢の幹事会でありたいと考えています。それぞれの出てきている意見を要約すると、先ほど説明した「A」「B」「C」になるのですが、上位だ、下位だ、というのは、概念的にはあるかもしれませんが、検討の途中の過程として同時に検討していくことが、検討の途中の過程であるならば、決定しちゃうとまずいかもかもしれませんが、グループで決定をお願いしますとしてしまうとまずいかもかもしれませんが、検討しているものを最終的にはシェアして決めていきましょうという姿勢を持っているということで、このようなやり方で進めてみたい、と提案しています。ここまで、1番目の質問に対して、いかがですか？同時進行でやってみませんか？
⑧	たくさん意見の中で、収斂していくのであれば、そういう方向性で収斂させていきましょう、という考え方なので、それを目指していく意見というよりは、そこら辺にまとまっていく方向性が見えてくればいいという考え方、やり方なんだと思います。
④	一番重要なのは2番目の質問の方で、すでに3月の段階で提示されている修正案があるじゃないか、今回はどういう姿勢なのか？という質問だという理解でよろしいですか？
⑧	奥歯にもものが挟まっているような言い方かもしれませんね。 しかし、それがないと、議論が進められないというか、意見交換会も前の説明会を受けて一般の方々も連続性を感じているわけで、それに対しての関連性は我々も認識しておかなければいけないし、提示する側もあの説明会で出された整備案と今回の違いは何なのか、とか、幹事会というものがあって、ここではどういう目的をもった方が出て、意見交換会を通してこう変わっていったんだ、ということの話は前の説明会を足場として語らざるを得ない。この幹事会の中でも、反対意見を持っている人もいるので、そのあたりも踏まえてこの幹事会が成立しているのであれば、そこもお聞きしたい。
④	「私は反対だから」という意見を書いていらっしゃる方もいて、後でご覧いただければ、まさにそれぞれの方がご自由な立場で参画していらっしゃるのですから、それは重々承知の上です。ですからこそ、意味のある幹事会になる可能性があると思います。 せつかく2つの質問のうちの1つめのところで、「やってみようか」ということになったところなので、2番目の話はあと2、3分でとりあえず終わりにして進めることにしていますか？

⑧	いいです。でも、さっきの「A」とすごく関連があることでしょう。
④	<p>では、状況の整理だけ今少し時間をとって説明をしたいと思います。</p> <p>この計画がどう経緯してきたのかということは、⑨さんが中心に広報し整理している中にも共有できる情報があると思いますし、行政の方からも広報でこれまで2回、3回、説明会の広報もしてきた。これを共有されている方もこの中にいらっしゃいます。ということで、事実の確認ですが、先ほども申し上げたように、年度末において修正案を持っている。その修正案の説明会を2回やったけれども、双方十分納得が得られる状況にならない。納得してもらえたとも思っていないし、納得したとも思っていない。事業は予定通り進むのかと思えば、その前に土壌の調査をするという状況が得られた。これ、ポジティブにとらえようということで、今年度は説明会でなくて、意見交換会という場を持つという意思決定をされ、広報された。この辺から行政の方でも参画できる状況を作り出そうとしているということを、皆さんも感じておられるようですが、それがどこまでの気持ちなのか？という懐疑がある。そういうご指摘ですね。</p> <p>この幹事会と意見交換会というものをもってして、果たして何になるんだ？ということ、自分たちが期待をどこまでしたうえで、区民に話せるのか？という認識でしょうか？</p>
⑦	私は質問を出したのですけれども、区行政の今のスタンスは現計画にとらわれることなく、意見交換会で交わされる意見状況に真摯に耳を傾けるというものなのかどうか、それについてお聞きしたい。それだけです。
④	<p>大事なことだというのは重々承知で、関心度も高いことも理解しておるところであります。……、本日はいまま少し交換してグループワークに入ってよろしいでしょうか？大事なことだというのは重々承知で、関心度も高いことも分かっています。</p> <p>ですが、その前に、グループの所属について、ご意見のある方はいらっしゃいますか？ないですね？</p> <p>それではその重要な話題をきちんと聞きましょう。</p>
①	<p>もちろん意見交換会に出てきた意見については、真摯に受け止め、私たち行政の責任としてそれを取り入れられるところは、取り入れて採用していくというのは、変わっていません。当初からそういう意味をもって意見交換会を開催していこうとしています。</p> <p>具体的なイメージとしては、1回目の意見交換会で進行係ともいろいろ会の運営についてお話をしましたが、あえてあまり案を出さない。というのは、公平に、多くの意見をいただきたいということで、また、たたき台として修正案を出してしまうと、また対立から始まって先に進まないだろうということが懸念されたので、少なくとも意見交換会1に関してまでは、あまり修正案をベースに話をしたくはないな、ということでこういう会の運営方法になっています。ですから、私の個人的なイメージとしては、意見交換会1で出した意見をもとにそのあとの幹事会を2回行いながら、修正案との整合性を見ていく。矛盾点を見て、そういうところを2回目の意見交換会にかけてどういう結果になっていくのかな、というイメージを持っています。</p>
④	<p>今のお話をまとめますと、修正計画案に対する意見交換会ではない。今の環境、将来の環境、修正計画案がある、このあたりはわかっているが、どういう考えるべきポイントがあるのかという意見を交換する、というところまで、ワイドレンジというか、逆に言うあいまいなステージでというか、自由に語れるというか、そういう意見の交換す</p>

	<p>る会を第1回目には持ちたいんだということ。そして2回目は、皆さんで議論をしながらということで、行政で持っているものとどうすり合わせるのかを考えざるをえないところもあるので、2回目の意見交換会のやり方は、その方向性も出していきながら、みんなでどうするかを考えて議論していきたいということによろしいでしょうか？</p> <p>まだいろいろと交換したいところですが、これについては、継続してやっていきましょう。</p> <p>恐れ入りますが、時間の進行をタイムテーブルで見ますと、20時30分までグループワークをお願いいたします。</p> <p>板書したときに、一応近いところに名札をおいてありますので、机を寄せていただいて3つに分かれて検討をよろしくをお願いします。</p>
--	--

3. グループワーキング(A班)

発言者	要旨
④	最終的に、このグループではあと45分たつと何ができていればいいのかという確認からワークに入っていただけますでしょうか？そうすると、45分で精度が出ると思います。
④	(レコーダーを) このグループにおいていいですか？重要な全体の話なので。
⑳	そういう全体の話なのかな、という風には私なりに思っています。
⑨	位置づけ(目的)と目標と開催周知ですね。
⑰	無理に集約しなくても、ある程度こういう意見とこういう意見が出たというように、2つになったという場合もあると思います。
⑦	それはこの場で全部決めるという話ではないですね。
⑨	はい。
⑰	あまりバラバラの意見が出ると、話がまとまらないので、少しずつ収斂させていきましようという取組ですね。
⑳	出たものをバーっと書いてもらって、それを推している人にそれぞれの想いを話してもらおう。
⑥	後は、ポストイットをお配りして、書いてもらって、パパッとカテゴリーに分けて貼っていくと形になっていく。 それではまず会の位置づけということで。
⑨	ただ、意見交換会については、もう規約に書いてありますよね？「江東区を代表する親水公園へと再整備することに関して有益な意見を得るために、意見交換会を企画する」。意見交換会の位置づけというのは、ここでもう定義されていますね。
⑳	意見交換会の1回目でどういった整理をするのか、その目標、どこの段階まで意見交換会の中身を第1回目で集約するのか、その着地点とかそういったものも含めてかなと。
⑦	それでは、まず私から自分なりの全体像、どんな意見交換会がいいのかという想いを言いますと、第1回目については、今のところ1000といくつかの意見がありますよね。それぞれの意見についての疑問に対してどう答えているか。まずどんな意見がありました、という紹介と、それに対してまさにニュートラルな立場での答え、それをまず皆さんに提示する。第1回目については、まず疑問点を解消することが一番の目的かな。それだ

	<p>けでかなりの時間をとってしまうでしょう。すごく深い質問もありましたので、準備も大変だと思います。基本的に計画がよくわからない。なぜ改修するのですか？という素朴な疑問があるじゃないですか？それに答えるのが第 1 回目。それが、行政があるいは幹事会も含めて、今までに 1000 いくつもの意見を出してくれたことに対する誠意だと思います。文化センターで開催した時などは特定の人に反対しているのかもしれませんが、すごく感情的になっていたでしょう。それではあまり建設的ではないし、そのためにまず真摯に答える、それがまず第 1 回の意見交換会の目的にしたらどうかと思います。</p>
⑰	<p>スタートはそれだと思います。区民の方々から、特に 3 月の説明会に出られていろいろと意見を言われた人は想いの強い人たちなので、そこで出された質問なり疑問なりに対して意見交換会の場で返答するのか、他にホームページなどで返答するかは別にして、その人たちに対してちゃんとお答えしていくというのが連続性を保つという意味ではスタートだと思います。その上でもう少し議論もした方がいいのかとは思いますが。</p>
⑳	<p>私はまだ今年に関しては説明会などには出ていないのですが、今までの議事録や区のやり方を見ていて、個人的に思うことは皆さんと同じです。まず皆さんが同じスタートラインに立っていないな、という気がします。区役所の説明も悪いと言えば悪いのでしょうか、客観的なデータもない中で口頭でこうです、ああです、という説明はするのですけれども、なぜそういう考えに至ったのかということも含めて、ちゃんと分かりやすく説明していないと思います。それがおっしゃったように、意見交換会の前に皆さんが同じスタートラインに立っていただけなのが一番いいかなと。できなければ、前半でそのスタートラインに立ってもらい、そこからいろいろなご意見をいただければなと思います。</p>
⑰	<p>区は今回柔軟に対応してくれているのは評価しています。ただ、昨年度末までの態度とはすごく違っているわけですね。それはちゃんと伝えるべき。役所的にはどういう言葉で伝えるのか難しいかもしれないけれども、多くの方たちから見れば、行政はなんだかんだ言いながら無理やりやっているのではないかと先入観みたいなのがあるかと。一応、そうではなくて、最終的にどうなるかはわからないけれども、とりあえずこの場では皆さんフラットな意見を聞かせてくださいというのは明快に伝えた方がいいと思う。それはできれば広報の段階から文言としてどういう言葉を選ぶかは別として、区の姿勢が伝わるような形にした方が、感情的なものが入り込んでしまうと、建設的な意見にならないので、それはなるべく解消するような形でやるべきだと思います。</p>
⑦	<p>行政のスタンスが変わりました。今までは作った案で行政が進めていく。今回の修正案も行政としては大変な変革だと思う。あんなことはなかなかやらない。それでもやっぱりモヤモヤしたものが残っているし、空気が変わってしまっている。行政に対する見方が厳しくなっている。税金の使い道など含めてね。私はある意味、行政が白紙に戻って、ニュートラルな立場でないと、みんなから意見をもらって、最終的な案が出てきて、それがさらにかげ離れたものが出てきたりすると、住民一同、怒ってしまう。そこで、区のスタンスはどうかということを毎回確認している訳なのですが。</p>
⑳	<p>当然なことだと思います。</p>
⑦	<p>それが伝わったら、住民の人たちも耳を傾けてくれると思います。</p>
⑨	<p>おっしゃる通りだと思います。違うものが出てきたら、それこそ、既に 3 億円くらいコ</p>

	<p>ンサルなどにかけているわけですから。そのお金がどうなっているのという話になってしまう。</p> <p>あと、係長がおっしゃったのは、意見交換会の意見を修正案に反映させて、取り入れられるものは取り入れるということですから、やっぱり修正案がベースになっています。結局、今回の整備計画が何のためにやるのかということが一番明確でないんです。だから、それがわかれば自ずとわかるんですが、計画だけがポーンと出てきて、あとが見えないということと、もう1つ、皆さん方は、他の分野の方々は、もう逆にほとんどの方が区が出してきた計画でいくと思っています。いろいろ話していると、もうだって決まったんでしょ？と9分9厘そう言われる。そこで、そうじゃないよ、ということをお伝えしなければならないというのがまず1つあるのと、今出た意見が1000以上あるので、それに全部回答していると大変だなという。そうすると、やっぱりこれがベースになってしまう。真っ新から考えるというように分科会に分かれる前に言っていたじゃないですか？ですから、前回出た意見に対する回答から入るのか、もうそれはさておいて今はより良い仙堀についての意見を求める会なんですよ、というのと、どちらかだと思います。ただ、それはさておいてと言ってしまうとじゃあ何のために整備するの？ということになるので、そこら辺の整理が私もまだつけられないです。</p>
⑦	<p>何か案がないと意見が出ないでしょう。これも1つの意見だと思う。よく言われるのは、現状の問題点は何ですか？というのがありますが、オリジナルの案が出たとき、それがなかなか納得できないのです。いろいろな深い議論があつたけれども、なぜ仙台堀川公園を改修することを提案したのか？という、そこから始まる。いろいろな議論をやって、実は行政としては一番いいと思って出してこられた。意見書の中に、私は知りませんが、区としては今の道路は維持したいんだという意見交換があつたのか、あればそれを議事録で出してほしい、とかそういうのがありましたよね。「江東区役所内で公園の面積を守ろうとし道路拡幅に至ったときの会議に提出された資料・議事録、公園面積を削らないパターン」の図面。そういう経緯があつて、実はこういう案になったのですよ、という、公園が削られるということについても納得できるわけです。でも、なんかちょっとおかしいんじゃないの？となったときに、それが意見交換会で意見が出た後に、区がそれを尊重するというスタンスがないと、せっかくの民主的でいいプロセスなのに、危険ですよ、と思う。ただ、なにがしかの案がないと議論できないじゃないですか？</p>
⑨	<p>その通りだと思います。皆さんがこうだと思いきや出した意見に対して、こういう経緯でこうなりました、ということがわかれば、皆さんなるほどそうだったんだと思ってくれる。それに対して、反論があつたとしても、そういう経緯があつたというのがわかる。私たちが今まで質問していても、そういう経緯を議員さんを通じてからでないと、一切教えてもらえなかった。経緯についてもそういう理由があつての、という理由も大事だと思いますが、お伝えしていくのはいいと思います。1回目でも、そのうえで、さらに何かあれば、ということで。</p>
⑥	<p>時間的に難しいかもしれませんが。これは「C」の話になるかもしれませんが、第1研修室では、ニュートラルに、修正案を置いて話をし、第1会議室の方では修正案になった経緯を掲示して説明するなど、そういったやり方がある。</p>
⑨	<p>ただ、もし可能であるならば、別のところで本来ならそのための資料は前もってホーム</p>

	ページに載せるなどして、道路の経緯はこうなったんです、ですから事前に見てください、もしくは「ここに掲載されています」と簡単に回答すればいいと思う。その場でいちいちやっていると大変。
⑳	私もそう思います。核になってくる事業がどういうふうになったのか、なんで区役所がそういう事業を起こしたのか、どういう課題があるのかというような整理は丁寧に説明しなければならないと思います。ただ、細かい手法などは、資料としてお作りしておけばいいのでは。
⑨	ただ、意見をダダーっと言う方もいるかもしれないけれども、それで答えられることはここに載っています、というのと、わからないものは一旦承ってあとで調べてホームページに載せます、という回答でそこで切ると。そうすると、1082の意見を先日整理してもらいましたが、それに沿って進めていけるかなと。
⑦	ただ、それはものすごい大変な作業ですね。 ほとんどの人はこれで進めると思っているようですが、私はそう思っていない。行政は一度こう決めたら、なかなかそれを変えるのは大変ですが、今回それが少し変わったよね。なおかつ、いい意味での意見交換会ができて、もしもそこに出た意見がまさに国会の議論じゃないけれども、おかしいよな、と思いついたら、具体的に何の行動に出るかと言えば、選挙です。区議会選挙とか区長選挙の時に、この話題が出るんです。お金が50億円もかかることだから、区予算も大変なんです。それから、公園を削るという話。この中にも書いてありましたが、区の中でこれまでの江東区の中で公園を削った例がありますか？という質問があって、これは大変な一件なんです。これに対して（要望が）何もなかったら議員さんや区長が今回みたいな見解を持たなかったのかなと思います。
⑳	そうすると、⑰さんもおっしゃっていますが、区が今回どういうスタンスでやっているのか、という話と、どういう流れで区がどう考えてこういう計画になったのかという整理があった方がいいですね。
⑰	2時間の意見交換会の場を有意義にするためには、スタートの時に同じテーブルについている状態にしたほうがいいということだと思います。これまでの客観的な経緯はいろいろ、区としてそもそもの事業を始めるときの目的とか、何でやるのかということや、こういう経緯があってこういう計画ができてこういう意見があったので、それに対して区はこう判断をして、この場はこういうように作っていきたいと思います、というところを明快にして、一人一人大事にして、ちゃんと建設的な意見交換ができるように、スタート準備をしていきたい。
⑦	基本スタンスは、皆さんの色々な意見は聞きました、それに対してこうお答えします、というところからですね。大変な作業にはなりますが。なおかつ、疑問が出れば、その場で答えられればいいけれど、答えられなければ第2回目のときにお答えしますというように、単なる数値的なものなら、ホームページに載せますから、というやり方で。
⑥	第1回ではそのようなニュートラルな姿勢で、第2回ではどうしたらいいのかイメージがわからないのですが。
⑦	それでは第1回は意見を聞くのではなくて、むしろ今まで寄せられた意見がこうあります、と。それに対して回答をして、そこで議論なり意見交換をするということだと思います。

⑳	もうすでに色々な意見をいただいていますからね。
㉑	網羅されているのではないですか？
㉒	でも、私が住んでいるのは猿江なんですが、日常的に仙台堀川公園は生活空間ではない。私は緑を大切にするという立場から反対するというをずっとやっているわけですが、逆に地域の人たちが実際にあそこで困っていることとか、地域のために解決しなければならないことがわからないと思います。 今回 1082 件寄せられた意見も、どちらかという、反対する人が一生懸命に言っているのですが、私は反対の立場だから、それはそれでいいのですが、そうじゃない人たちの意見も当然あるわけですから、それも逆に言うと言いたいとも思うのです。
⑳	今いろいろなご意見をいただきましたが、例えば意見交換会に来ていただいて、その場で発言するのも難しい方もいらっしゃると思いますので、まず今までこのような意見をいただいています、というのをお知らせして、それに対して自分の中では一番やってほしいことを言っていたく。
㉒	アンケートでもないですが、来られた人に対して、当然、前に出て発言する人もいますが、なかなか話さない人もいますから、この場に出てどう感じたかというヒアリングをするのもいいのではないのでしょうか。
⑳	それなら、目的としても 1082 の意見の中から、どれを重要視しているのかがわかりますね。
㉒	私は前の説明会のことは何も知らないのですけれども、公園を削るとか、道路を広くするとか、そういう点も白紙なのですか？もうある程度できている？
㉑	行政としては、白紙とは言ってはいけないんですが、意見交換会としては、白紙という形なのかなと。
㉒	それも区民の方の意見を取り入れながらということでもよろしいのですか？
㉑	はい、そうですね。
⑳	行政的な立場で道路を整備します、公園を整備しますと切り離せないところがあるという中で、ある程度一体的に整備しましょうという考えがあるわけです。行政には行政の考えがありますが、やっぱり地元の方のご意見をお聞きしながらというのは当然のことです。
㉒	ある程度行政の重みというのを前面に押し、それに対する意見でこちらは道路が広い方がいい、こちらは公園が広い方がいいということをずっと堂々巡りしているのですよね。
⑳	なぜこういう計画になったかということは今まで以上によくご説明しなければならないのですけれども、その中でも、ここまではご意見いただいた中で対応できますが、ここからはこういう基準だったり法律だったりがあるので、ムリなんですという話になると思います。
㉑	私は仙台堀川公園の真ん前に住んでいるのですけれども、周辺に住んでいる人で困っていることは何ですか？と言われると、多分自転車のことだと思います。ここにも具体的に声があがっています。歩行者と自転車が一緒に通っているのに、歩道が両サイドともとても狭い。これは今のままでは困るので、良くなった方がいいよね、というのはあります。そこで、公園のことですが、例えば堀川がありますよね、木があって、公園その

	<p>もので、今困っていることは、花粉？花粉症だから撤去してほしいとか、球あての音がうるさいとか、ラジオ体操がうるさいとか、そういう声はあるけれども、公園を狭めていいですよという意見はゼロだと思います。これは推測ですが、行政サイドで、堀川の維持はすごく大変ですよ。木があつて落ち葉も大変ですよ、というように行政サイドの問題もあるかと思いますが、もめるほどの問題はない。やはり自転車と歩行者との関係についてはいろいろあるんだと思います。</p>
⑥	<p>水路については、問題意識を持たれている方も少ないかもしれないですね。</p>
⑦	<p>水路が問題とか、危ないとか、たまに水が淀んでいたりするけれども、水路についてはマイナス意見はあまり聞いたことがないですね。</p>
⑥	<p>そのあたりについては、今は目標とゴールの設定をしなければならないので、第1回の意見交換会の目標というのが、「1000以上の意見について回答を提示して真摯な姿勢を見せる」というのはわかったのですが、第2回は意見交換会の全体の目標、結局どうするの？ということ、ゴールも今回この時間に決めなければならない。結局2回やってどうするのか。</p>
⑩	<p>どういう意見がどういう形で出るのかはわからないですけども、区民の意見がどういう形に収斂されていけばいいのか、それと今ある修正案とをすり合わせたときに、矛盾するところとか削ったり削らなかつたりするところが出てくると思います。とりあえず、区民としての皆さんの意見はこんな形で収斂されました、というのは、1つにまとまらなくてもいいけれども、ちゃんとまとまっていることが必要だと思います。実はそういう作業を計画段階でやっていかなければならない。区民の要望と行政として取り組まなければいけないことに対してどうやってすり合わせていくのですか？そこに至るプロセスとして区民側の要望とか意見が収斂されればいいのか。区民の立場でいくと、それが意見交換会でいろいろな意見が出て1回行政に返して、行政の中でいろいろ調整をします。調整をした結果がどういった成案になるかは区民側でまたチェックするべきだと思います。そこでしょうがないと言って納得するか、ダメだよと言って反対するのか、それはどちらかはわかりませんが、とにかくそういうプロセスを進めていくのに、何度も意見交換会をやるわけにはいかないので。</p>
⑦	<p>第1回目はまず回答もあります、なぜ改修が必要なのか、改修の必要性がわかった、そのコンセンサスがとれました。第2回目はそれを踏まえて、どういう公園にしてほしいか、どういう道路にしてほしいかという2回目はまさに意見交換会に出席されている人たちに道路や公園それぞれの整備計画がひとつにはなかなかまとまらないだろうけれども、それを目指す。大半の意見集約みたいなのが、「こういうの」「こういうの」「こういうの」というのがあって、少なくともその場にいた人たちが「これがいいかな」と思うところまでいけばいいけれども、いけなくても、「こういうのがいいな」というのがいくつか出ました、でもまとめきれないのだけれどどうしたらいいのかというあたりまで行けたら。</p>
④	<p>すみません、それぞれのグループで達成しようとしているところまで、どれだけ肉薄できているか確認しながら、あと10分でのまとめをお願いします。</p>
⑨	<p>会議の冒頭に会の位置づけとして、これまでの経緯がこうあって、1回目の会ではこれまでの回答をする、2回目の会ではどういうゴールにするかという話をして、ゴールとして</p>

	はいわゆる諮問機関みたいに答申をするということで、というか、意見書をこういう経緯を踏まえて、幹事会で意見書をまとめて区長に出していく。それは特記事項になるかはわからないけれども、それを踏まえた、改めた公園の計画を立ててもらおう。この意見書に基づいていなかった場合には、反論が出るかもしれませんが。そういった形になっていくかなと思っています。
⑦	今公園は、限られたけれど、道路もですね？
⑨	そうです。もちろん地域です。道路と公園、一体整備です。 少し細かい話になりますが、公園があって、セブンイレブンがあって、都営住宅があって、ここを突き抜けると日産と区営住宅がある。突き抜けられるんです。本来の大きな区の考え方としては、ここでよく事故が起きているんです。いつもトラックが止まっていて、見通しが悪くて。区としてはそういうところまでも考えるべきだし、区全体からすると、夢の島とか、ここに公園があって、こっちはないんです。ここに仙堀があって緑がなくて。東に番所橋があって、西に丸八（通り）があって明治通りがあって。（両側に幹線は通っている。そしてここは小名木川でどんづまりなんです。なんでここを広くするのかっていう。区全体で、子供たちも通るのに、バスが通るのに、それこそガードレールすらない。そういうアンバランスさを区全体として考えたときにどうなんだ、やっぱり上位計画からの流れも考えなければならぬという、全体としての話もあるかと思います。ただ、今回については、ここは対象地域ですが、どうして対象地域に選ばれたのか？そういう経緯ですね。
⑦	上位計画はよく知らなかったのですが、やはり上位計画があって、これが出てきているのですか？
⑥	そうです。上位計画、例えば都市計画マスタープランであったりみどりの基本計画であったり。ここはそういった課題を抱えているので、いずれ手をつけなければいけないという課題を持った地域だという認識はありました。また、長期計画というのもありますので、この時期にこれをやりましょうという位置づけの中で、仙台堀川の整備事業というのがあります。
⑦	マスタープランの流れがあるとしたら、公園を狭めるというのはよほどの決断でしたね？
⑳	今はその話はおいておいて。 まず第1回の会議をやって、地域の方の要望の重みづけをしたいという思いがあります。2回目のときにその重みにのっかって、こういうところが重要視される課題である、というのを踏まえて意見をいただければいいかと思いました。
⑰	区として、行政として絶対これは譲れないとか、いろいろな法令などの条件によって、これはどうしてもやらなければならないというものがあれば、それは2回目に提示してもらおうのでしょうか。
⑦	1回目の回答に含まれますね。
⑥	どうしてこんな幅員の道路なんだ？という質問に関しては、道路構造令を持ち出したりすると思いますが、それが回答になると思います。
⑳	道路の考え方は公園とは少し違いますけれども、基本的なことは道路構造令などをもとにしているので、逆に資料は作りやすいかと思います。

⑨	それも、道路構造令の幅員については、新しく造る道路に関してはそうですが、既にある道路の幅員については「望ましい」幅員ということですよ。回答というのは、そういうところまで含めた回答ですね。みんなが納得できるように。
⑳	それはあくまでも区役所の考えというよりも、こういう基準にのっとって考えました。その是非については、ご意見をいただければいいのだと思います。
⑨	それに対してもし事前に案があるなら、出ているのなら、それも含めてここで回答しないと、同じことの繰り返しになります。
⑦	第1回目が重要になりますね。第1回目がうまくいくと、第2回目がプロセス的にうまくいく。でないと、第2回も同じ方向に向いてしまったら、同じことの繰り返しになってしまう。
⑨	前回の課題の抽出、資料の抽出というところは、生きてくると思います。
⑳	前回と同じ説明は、やりたくないですね。私も今年から担当しますが、同じ結果になるのは避けたいです。
⑦	この1000の集約が大事ですね。3つか4つくらいに。
⑥	だいたい皆さんがおっしゃってくださったことで書きます。
⑳	あと区報は当然やります、ということ。
⑦	広域の中でも掲示板を出しましたよね。
⑳	今ある方法は確実にやりますね。
⑨	あと町内会からも案内がほしい、という声がありました。町内会から第1回目の案内も来なかったし、町内会で説明があったという説明も来てないという。1回目も2回目もそうだった、という。そのあたりの周知というのは、多分ホームページの掲載とかもなかなか見ないと思います。
⑳	なかなか区報も全部読む人も少ない。でも、区報を見なかったという人はある意味もうしょうがない、そこまではやりきれない。 町会さんにも協力いただいて、⑨さんにもホームページをお持ちですから、そこで出していただく。
⑨	別件ですが、地域の防災についてのアンケートがURさんから来ました。江東区から請け負って、URがやっているということで、北砂の。アンケートというのは、お金はかかりますが、集まってくれる方は問題意識がある方だと思いますから、有効な方法だと思います。
⑳	アンケートは26年度に一度やっているんで、同じアンケートをやっても意味がないので、別なもので。
⑦	今回、区報に意見交換会の開催通知が載りますよね。町会とか自治会とかに掲示板があるのですが、そこにA4で周知できます。マンションも掲示板ありますし、回覧板でもできます。
⑭	ホームページは、やはり年寄はパソコンやらないので見ないですね。
⑰	区が持っている掲示板はありますよね。町会がやっているのではなくて、区が管理している掲示板。公園とかにたまに掲示してあるのですね。
⑦	あれは町会がやっているのではないのですか？
⑰	いや、あれは町会が持っている掲示板と、区の広報のセクションが持っている掲示板が2

	週間に 1 回くらい、張り替えています。例えば区のイベントがあると地域振興のところでやっているイベントなどは掲示しています。これは是非こちらでもやりたいですね。
⑥	あと、今までの話を踏まえて、区報にどういったように載せるか。そもそもの話で熟成したということで、どういったことが熟成したのか。一番やりやすいのは、意見交換会を何回にするのか、ということなので、今はもう 2 回ということになっていますので、「複数回」というところは「2 回」となります。内容については、誤解の生じる書き方がありまして、また考えますけれども、要は「目的」はこれです、というのが変わらなければいいのかな、と思っておりますので、書き方については、すみませんがたたき台のたたき台だったので、例えば何かありましたら。
⑦	「老朽化による課題」というのは、今回もう少し分かりやすく書いたらどうか。何が老朽化しているのか。一番大変なのは河川管理なのか？
⑨	「熟成」という言い方はイメージはどうか。「老朽化」というのも、日々適切に管理されていないのが問題だろうということとか。
⑥	正直、これを聞いたがために疑問が浮かんでしまう、というのは一番良くない広報の仕方だと思いますので、事実のみをピックアップして、例えば、ピックアップというのは、「この公園は法律上こういった位置づけなんです」とか「上位計画にはこういうものがあって、マスタープランにはこういう課題があります」ということのみを入れておけば幅は持たせなくてすむのかと。
⑩	今回はスタートラインとして、まずいろいろな意見をいただきました、それを集約しました、それをまず皆さんに提示して新たに意見をいただきたいという趣旨であれば、それを書いてもいいのではないかと。
⑥	別にこの公園が「熟成」とかいうのは、書かなくてもよくて、前書きはいらなくて、要点だけでよいということですね。どういう趣旨なのかという点が伝わればいいですね。

4. グループワーキングの共有

発言者	要旨
④	お疲れ様でした。「B」の方はこちらに掲示してください。 みなさん、こちらに寄っていただいて、見えるように立っていただきます。 では「A」の全体の話が何よりも共通項が多いと思いますので、「A」の方にお越しいただいて、質問を受けていただきたいと思います。 「A」はどの人ですか？それではよろしくお願いします。
⑥	私ども「A」班では、全体像を想像するというで、具体的には、この意見交換会の目標、もう少し掘り下げると第 1 回目の目標と第 2 回目の目標をどうしたらいいのかというのを考えました。いろいろな意見がでたのですが、まとめますと、このボードのようになります。第 1 回目の意見交換会については、こちらにありますとおり、皆さんから 1082 の意見を出していただいたことに対する回答を提示しようと思っております。その、回答を提示しようということに関して、区が、やはり行政というのが決めたこと、計画を策定したことに関しては、あまり曲げていかない、少なくとも昨年度以前の区役所の公園の整備計画については、意見交換するというよりも、皆さんに説明をして押し付け

	<p>るではないですが、一方的に説明をしたにすぎない。けども、今年度からはそういったやり方ではうまくいかないという反省を踏まえて、それを前向きにとらえて、意見を交換するのだよ、より良い公園と道路をつくっていくんだよ、というような真摯な姿勢を見せることから始めようと思いました。第1回目の意見交換会としては、まずは回答を提示するというので、門戸を広げるという姿勢を見せるのが第1回目。それに向けて、まず「修正案」というのがありましたので、その説明も同時に行わなければならない。この「修正案」をつくった経緯を説明する。具体的に言うと、「何でいま改修するのか?」「上位計画って何?」といったことです。このことに関しては今集まった6人の話の中では、そもそもなぜ改修するのがわかってない方とか、今なんで改修するのが分かっていない方など、疑問に思っている方がいるので、そもそも改修する計画が策定された経緯をつくっていきこう。すみません、第1回意見交換会と書いてしまいましたが、できればその前、意見交換会の前に例えばホームページで公開するだとか、ここに来たら見れるというような掲示をしたい。第1回交換会までも含めて、真摯な姿勢を示す。というところで「A」班の皆さん、よろしいでしょうか。</p>
⑳	<p>あと、区は、この意見交換会にあたってどういうスタンスでいるのかということ、きちんと示さなければ、どうせ意見交換会をやっても結局変わらないのではないか、といった不信感を持たれる方もたくさんいたかと思うので、まずそういったスタンスをご説明します。細かい修正案の中身についてやり出すと、また前回の説明会のようにになってしまうので、そうではなくて、その前段階で、区役所の中でこういった課題が挙げられていて、こういう計画になりました、という流れを説明をしたうえで、それに対して是非をどんどん言っていただくのは良いと思います。そういったところを整理して、まずは皆さんで同じぐらいの認識でスタートラインに立っていただくところから始められるようにということです。</p>
㉑	<p>ちょっと、行政ではない人も話してください。</p>
㉒	<p>2回目の意見交換会は、もう意見交換会のゴールになるわけですが、第1回目を踏まえて、どういう公園・道路の計画にするのか、区民の意見を収斂する、区民が思っていることを収斂していく。現実的に言うと、今提案されている「修正案」というのがあるわけです。それと、摺り合せなければならないので、その作業のためには、区民として我々区民の立場としてこう考えているのですよ、ということ、1つの案にまとまるかどうかはわかりませんが、どこかに収斂していくのがゴールになるのかと。それは幹事会として区長にご相談する形になれば、少なくともこういう形になれば、この意見交換会が有意義なものになる。区民の立場と言うと、意見交換会に出した意見を一度行政に渡します、行政はまたその中でコンサル等との間でやり取りがあって、新たな訂正案みたいなのが出てくるかと思いますが、それがはたしてまた区民が出した意見交換会の意見を反映したものなのか、区民の要望が反映されているのかというのは、また区民の立場でチェックするということが必要になってくると思います。</p>
㉓	<p>今の話は、1回の後の話ですか?</p>
㉔	<p>2回の後の話です。一応、幹事会の任期は過ぎる話にはなるのですが、その後の流れの中で言うと、一区民としてはそういうところをきちんと見ていかなければいけないな、という風に思っている、どちらかという個人意見です。</p>

④	補足ありますか？
⑦	1 回目のところで補足しますと、なぜ公園整備計画なのか、道路整備計画なのか。その結果なぜ公園を削る修正案になったのか、が皆さんが疑問なわけですが、それに対して答えていく。そういう疑問に対して答えていくというのが柱になるかと思えます。いずれにしても、1000 以上の意見に対して真摯に答えるというのが狙いです。それで信頼感を得て、とげとげしい雰囲気が解消できて、建設的な意見交換会ができればいいなど、第 1 回目を位置づけております。
⑭	2 回の交換会は、広報で知らせる、あと、区が持っている掲示板などに意見交換会の趣旨を明確に書いて知らせる。
⑦	あと、アンケートをとったらどうか、という人もいましたが、とらなくてもいいという人もいました。感想とかご意見とか、集まった方のご意見を収集するのに、アンケートをやったらどうかと。
④	「A」から「C」の担当のところでも話題に出ていました。今、この意見交換の趣旨を広報等をした方がいいじゃないかという話でした。その趣旨についてどういう議論をされたのかをお話していただけますか。
⑨	大きく言うと、まず「会の位置づけ」ということで、意見交換会というのはこうです、という中で、これまでの経緯を踏まえて今回の意見交換会になりました、というのをまずうたって、運営という意味で、第 1 回でこれまでの回答をする。というのは、どうしてもベースがないといけないということで、実際に修正案が出ているので、それに対してきちんとした回答をするということ。2 回目はより良い意見を求める、最終的には区長に意見を取りまとめて渡す、ということです。そのための手法として、広報があるよ、ということです。
④	明日締切なんですけど、広報にはどういう趣旨で書いたらいいかということは何でしたか？
⑨	それについては、公園整備計画がどうのこうのという文章ではなくて、意見交換会をやりますよ、というものでシンプルに出していただく。
④	質問はございませんか？
⑧	第 1 回はプロセスだけを提示するのですか？どういう経緯で、という。
⑨	第 1 回は例えば道路を拡幅して公園を削るのはこれこれこういう経緯があって、こうなったんですよ、というのを答えられるだけ、可能な限り答える。その場で答えられないことについては、ホームページなりに載せるとか。意見があったときには、それはホームページに載っていますとか、そこで出た新しい意見などについては、わからなければ後で回答しますということでその場は切ってしまうと先に進めて、具体的には後で回答しようということです。
⑦	そこで 1 回目で疑問を解消しておかないと、2 回目でまた同じ質問が出てしまう。むしろ 2 回目では我々が区に望む公園・道路はこういうものです、というのをまとめられたらいいかと思えます。
⑨	1 回目は、この前宿題で皆さんにやっていただいた、こういう資料があった方がいいというのを踏まえてここで全部出さなければならぬと思えますが、それはすごく大変なことにはなると思えます。

④	「B」に移りたいのですが、その前に何かありますか？
⑬	ゼロベースの具合が、思っているのとちょっとズレているのかな？と思いました。計画の話聞いてしまうことによるバイアスも結構あるのかなと思うので、私の思うイメージは、あくまで現状の公園に対する意見という、今の仙台堀川公園にどのような課題があって、逆にどういうところは良いところで残していきたいのか、ということからスタートできるのが理想かな、とっていたので、ちょっと理想すぎるのかもしれないのですが、なので、計画に対する意見になってしまうので、そもそもの、もっとフラットなあるべき意見というのが出づらくなってしまうのが少し心配だと思います。意見交換会のゴールとか目標で言うと、より多様な人の公園に対する想いとか意見とか課題とかということを出せるにはどうしたらいいのかな、というイメージを持っていたので、どうしたものかと思っていたところです。
④	今発言いただいた話というのは、これまでのところにあまり時間と空間を共有されていなかった方の重要な話題だと思います。
⑰	逆に、私は 2 回目の説明会に出ていました。そこで、いろいろな、ほとんどの人が反対の意見を言っていて、ある部分で感情的になっているところがあって、それをそのまま引きずってしまうと、ギャップがある状態で始まってしまうので、それは避けたいね、ということです。それは区民が意見を言ってくれたことなので、それに対して行政はやはり答えをしてさしあげて、そこからじゃないと、フラットにはなれないね、という想いがあったので、こういう話になりました。⑬さんがおっしゃったように、全然そういう空間を経験していないとか発言をしていない人から見れば、そんな今ある計画の話が提示されると、それに引っ張られてしまって、どうせ区はこういうのをやりたいのだろうと思ってしまうのだろうと思うので、どちらがいいでしょう？
④	どっちがいいのかを考えればいいんじゃないでしょうか？ 私たちの将来にとって、いい機会なんじゃないでしょうか？同じ疑問を私も持っていました。ここに書いてあるのは、「説明」「提示」「示す」「見せる」ですね。これって「交換」しているのでしょうか？これってベクトルは片方から伸びているだけじゃないですか？また、その時の土俵というのは、どうしても反対感情があるから、またこれまでの経緯を私も知っていますから、どうしてもその図面からやらないと始まらないから、と思っているのが、相当バイアスとしてみんな持っていることはないですか？
⑰	それは持ってしまっているからなんですけれども。それでは、逆に言うとフラットでやろうとすると、区がちゃんとフラットにやりますよ、とそれを反映させますよ、ということと言わないと、フラットにはならないですね。
⑬	それはすごく大事だと思います。
⑰	そこまで行政が腹をくくっているかどうかがよくわからない。
⑧	それは行政に求めることじゃなくて、せっきゃく幹事会で集まっているのだから、幹事会の意見として「フラットにするべきだ」と言えばいいと思います。
⑦	何もなしで議論するのもいいのですが、議論の場が 2 回しかないですね。せっきゃく 1000 いくつもの意見が出ていて、経緯を説明するということは、示すというよりも、今の計画を作る発想のときに、今の公園や道路に問題があるから、そういう計画が出てきたはずなんです。今の計画を説明するということは、今の公園の現状の問題点に対する解決

	策として、今のところは第 2 案というのが出ていますよ、という、そういう説明を期待しているわけなんです。今までに寄せられた 1000 超の意見も、今の案を前提にして、皆さんの意見が出ているわけでしょう。だから、それに対して答えておかないと、また同じ意見が出て、同じことの繰り返しになってしまう。ですから、今はこの案を通すためのプレゼンテーションなのではなくて、ここまでの経緯が、議論がより具体的になるでしょうということなんです。
⑧	それを前提として言わないとダメですね。また、区は説明し出すのかと思われる。
④	当日は 2 時間ありますよね。その 2 時間のどこにどういう話題を当てはめるのか、2 時間をどのように使うのかという話になると「C」の話になってくるのでしょうか。ただ、今言われたように、主催者は今度は行政ではないですよ。主催者は幹事会になる。これまでの説明会は主催者が行政でしたが、今度の意見交換会は私たちが主催者です。はたしてどういうところにどんな話題で費やすのが将来のためにいいのか、ここに課題があるね、というあたりで、きょうは止めておいていいのでしょうか？これに対するある答えが出てくるかもしれませんし。 それでは「B」の話聞かせてください。
⑮	私はもっとわかりやすい説明をしないと、まわりの区民の方が納得するような説明、何で道路を広くしますかという、これから防災とかで広くしないと、あの周りは高層マンションとか住宅ができてくるわけですから、そういうときに消防車が入って来れるかということですよ。火災のときに、公園があれば木で止まるかもしれないけれど、大きな道路にしておけば、マンションの火災などでは、ポンプ車とかはしご車とか大きな消防車が通れば安心ですよ、というようなわかりやすい説明をしていかないと。だったら、道をなくして全部公園にしてしまったらどうかとか、道なしにして一方通行だけにしておけば公園を広くしまおうとか、どちらでもいいが、使いやすいことを考えていきたい。砂町のあたりも発展していきますし、小さな住宅から大きな建物に変わっていきますから。
④	それでは「B」グループお願いします。
⑤	「B」グループでは、皆さんから出していただいた、「どんな資料が必要か」というものに対して、まず行政が集めるか、区民が集めるか、コンサルが集めるか、他にどんな選択肢があるかということを担当して作業しました。これはグループでやったので、まだ私たちも内部で共有はできていませんが、いったん皆さんに発信して、確認してもらう作業は必要だよ、という状況です。 それ以外に、これをどうやって第 1 回か 2 回かの意見交換会で見せていこうかという話をしたのですが、まずは上位計画があって、今までの計画ができていますという流れもあるので、そういう話に沿って説明できたらいいでしょう、という話が出ました。 たくさんある資料をどうやって見せていくかということで、優先度の高い資料は特別な見せ方をするという方法、まとめて 1 つで表示できる資料があるんじゃないか、実は重複があるんじゃないか、結論は出ていませんが、そういう話もありました。 やはり資料が多すぎるので、ホームページに載せたいね、という話。ホームページだけでは見ないという人もいますので、ホームページの宣伝をどうしようか、という話もありました。例えば公園などの掲示板に QR コードを貼ってみてもらうのはどうか、とか。

	それ以外に結論は出ていませんが、アナログではどうしようかな、といったところです。
④	区報の欄に QR コードを出すのは、もうちょっと間に合わないですか？もう無理ですね・・・
⑰	全体の数が多すぎるので、どこかで収斂しないと短い限られた時間で、作る方も大変だし、見る方も大変。
⑧	まだ、中身の評価をしていないので、資料名だけ見ても何の資料だかわからないものもある。いったん集められるなら集めて、重要なのかそれほどでないのか。集めようとしたけれど手に入らないものもあるかもしれない。そのようなものを集めたうえで選択していく。ただ、資料なので、我々があまりきつくまとめてしまうと資料としての客観性が欠けてくるので、上位計画を並べるぐらいはいいのですが、あとの資料は中身はそのまま、今初めて言いましたが、そんな風に思いました。
④	こういう姿勢で今臨んでいるというスタンスで検討して下さったのでしょうか？
⑧	皆さんがこういう資料が欲しいということで、こういう考えを通すための裏付け資料としてこういうものが欲しい、こういう内容を説明するためにこの資料がいる、という考えはわかる。区の考えに同調していくには、こんな資料が必要だとか。資料名を並べただけではなくて、いろいろな想いとか思想が見えてきたので、そういう意味ではまだ足りない資料もあるかもしれない。
④	限られた時間の中でどれだけできるか、と思いますから、これからの作業で一緒にやろうと言ってくれる方がいればぜひ一緒にいただきたい。 ということで、「C」に入りたいと思います。
⑱	「C」の組み立てと進行を工夫するというグループです。 まず、仙台堀川のお近くにお住まいの方がどのくらい関心があるのか。というのは人によって関心度が違うだろうと思うところがありました。意見交換会は全部で 2 回ありますが、まだ 2 回目の議論までは実は行っていません。まず 1 回目では現状の認識、課題の共有ということを大事にしていくべきだろう。その前提となるのが、先ほど「A」「B」の話でも出ましたが、この「修正案」というのをベースにするのか、そうではないのか、ということです。その結論は出ていませんが、まず 1 回目の意見交換会は、修正案があるなしは置いておいて、現状認識をまずやろうではないかということです。そういう意味で、最初には今までの説明会とは切り離して、ということを行わなくてはいけないと思います。具体的には、200 名のキャパのある会場ですが、説明する側と意見を言う側が甲乙の関係になるのは良くないのですが、かといって、いきなりブースに分かれてしまうと、それぞれの認識が違って来るだろう。幹事会として、今まで出てきたご意見に対して、現状こういうふうなものだと思っていますというところを 15～20 分かけて、まずはこちらからお話する。そこから、例えばこの間の幹事会であったように 7 つのグループに分かれていってお話をすると意見を言いやすい環境になるのではないかと思います。あとはこのペーパーにもありましたが、会議室という場でやっていると、記憶にたどって話をしていると、あついているところも間違っているところもでてくるでしょうから、このような会とは別に、午後でもいいのですが、見学会というものを皆さんでやったらどうかということが話題になりました。
①	今の共通認識をもって 7 つのカテゴリーで説明する中に、私たちが作った修正案を説明

	するブースがあっという間じゃないか、ということ、見学会はできれば26日にやりたいかと思っていますが、ちょっと暑いかなとも思っています。
④	修正案を説明するブースですね。
⑱	ブースに分かれると言っても、人数で分かれるとか、7つにこだわることもないですが、例えば「安全・安心」に対して特にご意見をお持ちの方々、「みどり」に対して、ということで、テーマごとのブースにした方が出しやすいかなと。
	ブースが炎上しても話を聞く？
⑨	それは意見を聞くということですよ？話を聞くということですよ？説明じゃないですね？
⑱	まずは現状の認識に対する話。
④	意見を聞く、と確認されていますが、意見を出し合う場としていいですか？意見を出してそれに答える場とすると、それは大変なことになりますので。
⑬	住民同士の交換会。
⑰	それこそ聞くと言ったときに、主体は誰ですか？行政として聞くのか、幹事会として聞くのか。
⑬	問いかけ方がすごく難しく、そこまでは議論はできていない。何か案があると、それに対して賛否両論が出ると思いますが、現状の公園のいいところとか、課題とか。
⑦	2回やるんだったら、1回目は聞く会なんじゃないですか？
④	例えば、「B」で聞くというニーズがありそうなものを先に出しておくという話はなかったですか？
⑩	優先順位の高そうな、関心度の高そうなものを掲示しておくという案はありました。
⑦	初めて会うところで、いきなり1回目で出し合うというのはちょっとピンとこないので、やはりまず「聞く」ところ。2回目で今度は意見交換会という整理をしたうえでやるのがいいかと思いました。
⑬	「住民」対「住民」のイメージなんですが。
⑨	私は「出し合う」というのと「聞く」というのはイコールだと思いますが。
⑬	そんなに変わらないと思います。幹事会とか行政とかが聞くのではなくて、住民が輪になって、住民同士でああだこうだと出し合って、という意味なのですが。そこで引いた目で見ているのが幹事会メンバーで、例えば意見が行き詰っていたらヒントを投げかけてみるとか、そういうのが役割だと思いました。
⑦	すみません、勘違いしていました。意見を出し合うのですね。
④	具体的な話でいくと、伐採するんですか？保存するのはどうなんですか？というデータは去年は出てなかったと思いますが、それが出せるのなら、早く事前に出しておけば、その次の話できて、早く進むので、「B」で議論いただいたと思いますが、事前にわかっておいた方がいいことは出しておいて、それを踏まえた意見交換ができればいいかと。
⑪	ただ、基本的には、加計学園じゃないんだから、ゴールが全部、工程が全部決まっているようなやり方にしか聞こえないんだけど。
④	ゴールというのは、具体的には何を？
⑪	ゴールとは、工事をどうしてもやること。
④	今の想定だと、行政的にはそういう工程で進んでいる。これは間違いのない事実です。

	それで今こういうチャンネルを挟んで改めて考えようとしているのも事実です。
⑪	そういうことだったら、時間を十分かけて、みんなの意見を聞いて、それを取り入れて修正案を作って、それでまたみんなに投げて意見を聞いて、行ったり来たりして、本当にいいものを作って、仙台堀川公園が日本の中で一番素晴らしいというくらいの心意気で、本気でやらないと、たかだか 50 億円のお金を無駄に使うわけではないので、本当にいいものを、みんなの総意で作ろうということなのだから、迫力のある検討会でなければ意味がないですよ。
④	限られた期間の中で、2 回の意見交換会をやります。どれだけのチャンスを私たちが作れるかというのがミソです。
⑮	本当は利用者の方に、朝早く行ってそこでランニングしている人とか散歩している人に意見を聞くのが一番なんですよね。昼間行ったら、暑いからあまり歩いていない。やはり利用している方、自転車で通勤している方でも、自転車と歩行者で一緒になって危ないから、今自転車で事故起こしたら大変です。今、公園の中は自転車と歩行者は一緒ですから。
⑦	現状はこうです、問題点はこうあります、だから整備計画が出てきたという説明をして、納得できなければ、なんでやる必要があるの？という意見になれば、そういう意見だということ。区のスタンスは白紙の状態で聞くということで、この意見交換会の幹事会を提案したということは、もう今のままでは通らないから出してきたと思う。そのリスクは負っているけれども、今の公園には問題があると思う。それを説明して何かやらなければならないよね、というその「何か」がこの案なのか、もっと違うやり方があるでしょうとか。その時にまた道路は一方通行がいいとか、両側通行にするとか、やっと話が具体的になるから、何も工事のための会をするという風には皆さん思っていないと思います。
⑧	行政案の見せ方はすごく微妙なのですけれども、それを提示しないわけにはいかない、先日の説明会もあったので、そこをほったらかしにしてゼロというのは、またどうせどうなっているの？と聞かれるので、そのスタンスが微妙なんだけど、我々幹事会としては皆さんの意見を踏まえて、皆さんの意見に基づいて、これを変えていくつもりだというスタンスを示せばいいと思う。
④	今おっしゃっているその情報をみんなが知るという機会を意見交換会までにやらない？そのプランがどうしてでたの？という質問はみんな持っているわけでしょう？今、それについて「B」の検討のリストにはどこかありましたか？それはわかり次第ホームページに出すとか、どこどこで説明するとか、そういうことをやり終わってから、次のステップに行くというのはどうでしょうか？やっぱり前でやりあわないとだめですか？
⑨	それは 1000 超の回答の提示というのがそこに入っています。どういう経緯で公園を削らなきゃいけなくなると、道路を広げる計画になりました、道路を広げない計画はこう考えたんだけど、やっぱりこうなりました、というのがあれば、それも全部出す。
④	それは意見交換会の前に出せば早く出した方がいいんじゃないですか？
⑨	だから、いち早く出していくと言っている。本来的には、説明会のときに答えておくべきことなのに、それを答えてなかったから、それをチャラにしなければ。今回ゼロベースで話すというのがあったので、それでどうですか？という話もあったけれども、どう

	<p>せ議論になるのだったら、回答を用意しておかなければならないし、前回の宿題でみんなやったわけだから、その資料を集めておくわけじゃないですか。それはもう説明会の前に出しておいて、説明会は時間がないので、大きく説明して、細かくはここに載っていますよ、新たな意見が出てそれに答えられるのだったら、こうですと端的に答えて、それ以上の意見が出たら、今は回答を持ち合わせていないので、持ち帰って次回にお答えしますということで、という流れの資料。</p>
⑧	<p>あの案を説明することによって、我々の幹事会としてはそれを推しているということにはなりませんか？</p>
⑨	<p>ですので、そうならないようにニュートラルな立場で。</p>
④	<p>このグループワークの前に確認した話では、第 2 次計画案の意見交換をするのではありませんということとは先ほど確認したかと思います。今、言われていましたが、意見の違いがあるのは、行政と区民という構造だけではなくて、区民の中にも違う意見がある。何を話題にするべきかというのは、修正案を話題にして意見交換をするのではなくて、本来はこの環境において議論することは何なのか。江東区に住みながら、生き物と一緒に暮らしていく環境もあるだろうし、交通の利便性を求めてお住まいの方もいるし、高齢になって様々な人間の相互関係もあるでしょうし、様々あるでしょう。その意見交換をするという話題を修正案に持っていくのはやめましょうよ、という前提はもう一度確認したうえで、良い意見交換会を作りたい。説明会にしてしまっただけは勿体ない。</p>
⑧	<p>説明の仕方が難しいですね。道幅を広げました、という答えを文字で提示されると・・・</p>
⑦	<p>質問の中で一方通行ではいけませんか？という質問もありました。そこで、一方通行を採用しなかった理由も説明しましょうということ。</p>
⑨	<p>「トランスを上において 50 センチとります、植栽もありますとはいっても、でもそんなトランスは地上におく必要はありませんよね、軒先配線でもいいし、公園側においてもいいし、街灯をつけるのなら、街灯の上にトランスをおく選択肢もありますよ、自転車の走行空間を別に設ける必要もないです、ゾーン分けで十分です。」という回答も併記して出すということですよ。</p>
⑦	<p>修正案の説明じゃないんです。1000 いくつかの寄せられた意見に対しての回答をするということです。</p> <p>今の一方通行についても、いろいろと反対意見が出ていましたが、それについての回答はこうですよ、という説明をしなければならぬ。ホームページに載せられますか、ということだけでも、本当は第 1 回目の交換会前の幹事会で、最終的にこういう資料です、というのを幹事会で確認することが絶対に必要だと思います。あまり時間がないから、回答を用意するのはとても大変なことだと思いますけれども。</p>
④	<p>きょうの時間もそろそろ終わりなので、まとめます。私たちは幹事会である。これは行政だけではなくて、区民と一緒に構成している。私たちの使命は、魅力的な、効果のある、意義のある意見交換会を開催することである、という単純化しますと、どういう意見交換会が私たちの環境にとって、将来の環境にとっていいプロセスになりえるのかという想定をして、実際に実行していくことだと思います。そこで、どうしても引っかかってしまうのは、修正案を出していた、説明の不足じゃないか、そういうことを全部飲み込んだうえで、いい議論がだいぶできたと思いますが、意見交換するべきは、話題で</p>

	<p>ある。どういう話題こそ、意見交換する必要があるのか、この機会は私たちの手でどこまで良い機会に育てていくことができるのか、そういうところがポイントだと思います。きょうは皆さんにだいぶしゃべっていただいて、いろいろな整理が皆さんの中でできてきたかと思います。それについて、少し時間オーバーしてしまいましたが、お茶会はきょうは無しということで、アンケートだけはしっかりと、今悶々と思っていることをアンケートにぶつけてお書きいただきたいと思います。あそこにスケジュール書きました。きょうは24日で、次、30日に考える会があると伺いました。8日火曜日が次回の幹事会がありまして、26日が意見交換会です。下に書きましたが、幹事会④、幹事会⑤、意見交換会2、幹事会⑥は全然ノースケジュールになっております。まだ予約も取れていません。これは今決めたほうがいいですか？曜日とすると、土曜日で1か月はあけた方がいいでしょうか。センターの空き状況はどうでしょうか。</p>
⑤	<p>きょうの朝、見たら、30日の午前中は、第一研修室は空いていました。</p>
⑥	<p>あした中に予約を入れておきます。</p>
④	<p>30日の前に意見交換会2の開催に向けた幹事会④、⑤、そして⑥は10月のどこかになりそうですね。④と⑤は9月中のどこかになりますね。場所については、ここでよろしいでしょうか。時間帯については、どうしましょうか。8月8日に話題にしましょうか。意見交換会が終わって次の週では、ちょっと無理でしょうね。1週間で意見交換会の要約をして、みんなで次の議論をするというのはちょっと無理でしょう。そうすると、9月の早いうちで、8日金曜日ですか？次は意見交換会2が30日ならば、19日か20日。連休がなくなりますけど。</p> <p>それで、明日原稿の締め切りを迎える広報については、「A」チームさん、大丈夫ですか？「B」チームさんはこの資料の収集・整理についてはどうでしょうか。</p>
⑳	<p>今とりまとめた内容を、この区分けでいいですか、自分が持っている意見を出したい人はこの区分けで出しますよ、というのをメールなりでします。</p>
④	<p>では、「C」については、また後で要件を聞かせてください。それでは、締めをお願いします。</p>
㉑	<p>皆さん、お忙しい中、活発なご意見をいただきましてありがとうございます。スケジュールはタイトですが、今後ともよろしく願いいたします。本日はありがとうございました。(拍手)</p>
④	<p>恐れ入りますが、アンケートに思いの丈を書いてください。Faxでもメールでもいただければ、結構です。</p>
⑤	<p>本日いただける方は私までお願いします。きょうは宿題はないので、アンケートだけです。締切は今週中をお願いします。</p>

—以上—